

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)

【公表番号】特表 2005-534051(P2005-534051A)  
 【公表日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-044  
 【出願番号】特願 2004-522617(P2004-522617)  
 【国際特許分類】

**G 1 0 L 19/00 (2006.01)**

**H 0 4 L 9/32 (2006.01)**

【F I】

G 1 0 L 19/00 3 3 0 Z

H 0 4 L 9/00 6 7 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 30 日 (2006.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

符号化信号が特定タイプのエンコーダで符号化されたかどうかを判断する方法であって

、

前記符号化信号の少なくとも一部を受信するステップと、

前記特定タイプのエンコーダの逆動作を実行するデコーダを用いて受信信号を復号するステップと、

復号された信号から指紋を取り出すステップと、

前記指紋をデータベースに格納された指紋と比較するステップと、

取り出された指紋が前記データベースに格納された前記指紋の 1 つと一致するとき、前記符号化信号は前記特定タイプのエンコーダで符号化されたと結論づけるステップとを有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、前記ステップは、ネットワークを介してクライアントから前記符号化信号を受信したサーバにより実行されることを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の方法であって、前記受信した符号化信号は前記特定タイプのエンコーダで符号化されたものであると前記サーバが結論づけたとき、前記クライアントに賞を与えるステップをさらに有することを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の方法であって、前記賞を与えるステップは、前記信号に関連したメタデータを前記データベースから検索し、前記メタデータを前記クライアントに送信するステップを有することを特徴とする方法。

【請求項 5】

ネットワークに接続され、クライアントから符号化信号を受信するサーバステーションであって、

個々のマルチメディア信号を識別する、1 以上の指紋を格納するデータベースと、

前記クライアントから受信した符号化信号を復号する、特定タイプのエンコーダの逆動

作を実行するデコーダと、

復号された信号から指紋を取り出す手段と、

前記復号された信号から取り出した前記指紋を前記データベースに格納された指紋と比較し、前記取り出した指紋が前記データベースに格納された指紋の1つと一致したとき、前記受信した符号化信号は前記特定タイプのエンコーダで符号化されたものであると結論づける処理手段とを有することを特徴とするサーバステーション。

【請求項6】

請求項5に記載のサーバステーションであって、前記受信した符号化信号は前記特定タイプのエンコーダで符号化されたものであると結論づけたときに、前記クライアントに賞を与える手段をさらに有することを特徴とするサーバステーション。

【請求項7】

請求項6に記載のサーバステーションであって、前記賞を与えることは、前記信号に関連したメタデータをデータベースから検索することと、前記メタデータを前記クライアントに送信することを有することを特徴とするサーバステーション。

【請求項8】

請求項1ないし4いずれか一項に記載の方法を実行するようプロセッサに命令するコンピュータプログラム。